

平成23年度 外務省ODA予算の概要

平成23年3月

I. 23年度当初予算

(単位:億円)

	平成22年度		平成23年度	
	予算額	伸率	予算額	伸率
政府全体	6,187	▲7.9%	5,727	▲7.4%
うち 外務省	4,134	▲5.3%	4,170	0.9%
無償資金協力	1,542	▲4.2%	1,519	▲1.5%
JICA運営費交付金	1,480	▲5.0%	1,457	▲1.6%
分担金・拠出金	514	2.4%	607	18.0%
援助活動支援等	598	▲4.1%	588	▲1.7%

(参考) 22年度補正予算追加額

(単位:億円)

政府全体	1,495
うち 外務省	1,483
> インフラ海外展開の基盤整備支援 (緊急総合経済対策)	25億円
> 我が国の環境・エネルギー技術の海外展開支援 (緊急総合経済対策)	173億円
> アフガニスタン支援 (総額:506億円)	484億円
> 世界エイズ・結核・マラリア対策基金への拠出	107億円
> 災害対策等人道支援	654億円
> 国連平和維持活動(PKO)分担金 (総額:496億円)	28億円
> クメール・ルージュ裁判関係経費	11億円

II. 23年度当初予算の形態別概要

> 無償資金協力 1,519億円 (▲23億円、▲1.5%)

- 事業仕分けにおける指摘も踏まえ、効率化を推進
- 新成長戦略への取組、アフガニスタン支援、ミレニアム開発目標(MDGs)／人間の安全保障の推進を重点項目と位置付け、「元気な日本復活特別枠」による予算措置も合わせて必要額を確保。
⇒新成長戦略への取組(インフラ海外展開の基盤整備支援、我が国の環境・エネルギー技術の海外展開支援)496億円、アフガニスタン支援250億円、ミレニアム開発目標(MDGs)／人間の安全保障の推進(アフリカ支援、保健／教育)443億円

> JICA運営費交付金 1,457億円 (▲23億円、▲1.6%)

- 事業仕分けにおける指摘も踏まえ、青年海外協力隊事業に係る予算等を削減
⇒JOCAとの契約の見直し▲4億円、国内積立金の見直し▲2億円、シニア海外ボランティア派遣経費見直し及び派遣前語学研修委託契約見直し▲2億円等
- 新成長戦略への取組、アフガニスタン支援、ミレニアム開発目標(MDGs)／人間の安全保障の推進を重点項目と位置付け、「元気な日本復活特別枠」による予算措置も合わせて必要額を確保。
⇒新成長戦略への取組(インフラ海外展開の基盤整備支援、我が国の環境・エネルギー技術の海外展開支援)597億円、アフガニスタン支援99億円、ミレニアム開発目標(MDGs)／人間の安全保障の推進(アフリカ支援、保健／教育)364億円

> 分担金・拠出金 607億円 (+92億円、+18.0%)

- 分担金及び義務的拠出金については、国際的な義務を誠実に履行
- 世界エイズ・結核・マラリア対策基金拠出金159億円(+99億円、+165%)※対前年度外貨+179.8%
⇒ミレニアム開発目標(MDGs)／人間の安全保障の推進に係る拠出金として「元気な日本復活特別枠」による予算措置も合わせて必要額を確保。
- その他の任意拠出金(総額263億円(+16億円、+6.5%))については、特にミレニアム開発目標の達成、平和構築等に係る拠出金に予算を重点配分した上で、メリハリをつけて要求
⇒国連開発計画(UNDP)拠出金コアファンド^{*}73億円(+4億円、+6%)※対前年度外貨+12.0%
国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)拠出金53億円(±0億円)
国連児童基金(UNICEF)拠出金22億円(+7億円、+47%)※対前年度外貨+55.6%等

> 援助活動支援等

- 在外公館における経費等